

第二十三回夏季デフリンピック競技大会 日本選手団壮行会
丸川大臣 挨拶（平成二十九年六月二十八日）

第二十三回夏季デフリンピック競技大会に出場される日本選手代表の皆様、出場、本当におめでとうございます。また、コーチや手話通訳等で参加される関係者の皆様、おめでとうございませう。あわせて、（本日はお越しではないかもしれませんが）これまで選手を支えてこられたご家族や勤務先の方々などにもお祝いの気持ちをお伝えしたいと思います。

十代の学生さんから五十代の方まで、総勢百名以上の選手が出場されるとお聞きしていますが、皆様のこれまでのご努力が実を結び、一つでも多くのメダルが獲得できることを期待しています。

また、皆様が世界のトップクラスの選手達と戦う姿を見せてくれることで、より多くの人々が興味や関心を持ち、障害者スポーツへの理解促進が図られることを期待しています。

スポーツ等を通じて、障害の有無にかかわらず、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会を実現していくことは重要だと考えています。

政府では、去る二月、障害者の皆様に立案の段階からご参加いただき、一年の議論を経て、「ユニバーサルデザイン二〇二〇（ニ―ゼロニ―ゼロ）行動計画」をとりまとめました。

この行動計画では、ユニバーサルデザインに基づく街づくりなどの物理的なバリアフリーはもちろんのこと、教育等を通じた「心のバリアフリー」を次世代に我々が残すべきレガシーとするべく諸施策を進めてまいります。

特に、障害のある方とない方がともに参加できるスポーツ大会等の開催を全国で推進するとともに、学習指導要領改正を通じ、全ての子供たちに「心のバリアフリー」教育を実施してまいります。

これらの施策の実施に当たっては、施策の立案段階から障害のある方に一緒に議論に参加していただき、共に生きる視点から社

会を作っていくきます。

三年後には、東京で、オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。この三年間は、障害あるいは障害者に対する日本人の考え方、日本社会の在り方を全く新しいステージへと引き上げていくための三年間となります。

最後に、ここにいらっしゃる皆様が持てる力を最大限発揮し、サムスンでの大会がすばらしいものとなりますよう、皆様のご健闘を祈念して私からの挨拶といたします。